

NPO 法人神奈川災害ボランティアネットワーク 2025 年度第 3 回理事会議事録

開催日時：2025 年 8 月 26 日（火）18 時 30 分～19 時 50 分

開催場所：かながわ県民活動サポートセンター11 階 コラボスタジオ
及びオンライン参加

出席者：（会場 5 名）：河西、清水、荒井、前川、斎藤

（オンライン参加 5 名）：石橋、吉田、舛田、倉島、塩沢

オブザーバー参加：4 名

議長：清水副理事長

1. 理事会開催の確認

理事定員 11 名の内会場参加者 5 名、オンライン参加者 5 名、合計 10 名の出席により理事会の成立を確認した。

2. 議事運営

河西理事長より開会の挨拶を受け、議長として清水副理事長を指名し、議長は議事録署名人として前川理事、石橋理事をそれぞれ指名した。

3. 経過、予定報告

(1) 能登半島地震被災地支援ボランティアバス派遣事業

第 25 便 7/25～27 日 18 名 第 26 便 8/1～3 日 22 名 第 27 便 8/22～24 日 22 名

各便とも活動場所 珠洲市 大変暑い中ではあったが無事活動できた。

活動内容 25 便 地震被害のあった家屋からの家財の搬出、仮置き場への搬出

26 便 水害による農業用シートの片付け、津波被害を受けた家屋からの家財の搬出、移動

27 便 地震による崖の崩落あった場所に直近の大雨で庭、家屋に水が浸入したので、今後に備えて浸入防止の溝掘り、側溝の土砂除去、側溝脇を土嚢で補強

28 便は 9 月 5～7 日珠洲市での活動を計画し現地 VC に団体活動の仮予約をしている。

(2) コミュニティカレッジ講座

- ・「災害ボランティアコーディネーター基礎講座」県サポ講義室

8 月 23 日（土）、30 日（土） 9 月 13 日（土） 全 3 回

第 1 回講座は 28 名の受講者、9 名のスタッフ参加により行われ、松山氏の講義、グループワークは好評であった。

- ・「多様性の視点から災害と避難所・避難生活を考える」横須賀市産業交流プラザ

10 月 25 日（土）、11 月 1 日（土） 全 2 回

現在受講者募集中 第 2 回目の避難所運営ゲーム(HUG)のスタッフをお願いするが、スタッフ向けの研修を予定している

(3) ぼうさいこくたい 2025in 新潟

9 月 6～7 日 新潟市 朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

ブース展示にて、ICT 災害 VC 模擬体験、防災クイズ、パネル展示

6 名の参加で車両にて 9 月 5 日夜横浜発 7 日夜横浜帰着の予定

(4) 九都県市合同総合防災訓練

1) 横浜市総合防災訓練

9月28日(日)9時～12時 青葉区谷本公園

8月7日展示ブース説明会 出席 当日資料は office に掲載済

9月1日、22日にオンラインによる支援室委員会を開催し実施内容の検討を行う

開催当日の協力スタッフを募集

2) ビッグレスキューかながわ 2025

11月9日(日)9時～13時 三浦市県立城ヶ島公園にて開催

展示・体験コーナー参加 第2回全体会議 10月8日開催予定

(5) その他

・広報誌 NEWS13号 発行

会員、役員、運営委員、県内市区町社協ボランティアセンターに送付済

KSV ネットホームページに掲載

・かながわ・よこはま防災減災体験フェア

11月22日(土) 横浜市民防災センターにて開催

防災カードゲーム体験コーナー参加

・支援センター情報伝達訓練

12月11日(木)開催予定 12月16日(火)ワークショップ開催予定

・内閣府 被災者援護協力団体の登録

KSV ネットでの被災地支援活動は一般ボランティアの派遣を主としたもので、発災時の
即対応とはいかない面がある。登録に際しても種々の書類提出が必要となっている。

しばらく様子を見ながら対処を考えたい。

以上の報告に関して参加理事に意見を求めたところ、特に意見無く了承された。

齋藤副理事長から閉会の挨拶を受け、第3回理事会を終了した。

NPO 法人神奈川災害ボランティアネットワークの 2025 年度第 3 回理事会議事録として
証する。

2025年8月26日

理事長 河西英彦 ㊞

議長 副理事長 清水幸次 ㊞

議事録署名人 理事 前川吉和 ㊞

議事録署名人 理事 石橋友晴 ㊞